

所信表明（平成29年3月1日定例会）

皆様、お早うございます。

三寒四温という言葉の通り、寒い日と暖かい日が繰り返しておりますが、日増しに暖かくなっており、早春の息吹を感じる今日この頃、議員各位におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る2月20日に平成29年第1回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては、公私にわたり大変ご多用のところ（全員・多数）のご出席をいただき、ここに本定例会が開会されますことを、まずもって御礼申し上げます。

まず、3月11日岩手県陸前高田市の東日本大震災追悼式の案内がありましたので、昨年同様日帰りでの参列を予定しております。あの震災から早くも6年目を迎えることとなり、現地では、震災の復興も着々と進んでおることと思われませんが、お亡くなりになられた方々のご冥福と、行方不明者の方が一日も早くご家族のもとへ帰られることをお祈りしてまいりたいと考えております。

それでは日付順に行事などを報告させていただきます。

年を開けた1月5日に最初の町の行事としまして、賀詞交歓会並びに表彰式を行いました。本年の表彰の栄に浴されたのは、自治功労表彰2名、一般表彰15名、感謝状を12名2団体でした。これからも町政に対しまして、ご尽力を賜りたいと存じます。さらに、今年は初めての試みとして、式典終了後にふるさと大使の北川大介さんの「おもてなしコンサート」を行い、例年より多いおおよそ300人の町民の皆さんに楽しいひと時を過ごしていただきました。また、1月7日には、寄りやま運動広場で消防出初式を挙行了しました。消防団員は、本業を持ちながら、日夜、火災や災害などから、町民の生命、財産を守るため、献身的な活動をしていただいていることに、深く感謝しております。当日の統制がとれた分列行進や消防操法は、訓練の賜物であり、たいへん心強く感じられました。続く1月8日の成人式では、大人の仲間入りをした新成人101名をお迎えしました。式典には国会議員の皆様が来賓としてご臨席賜るとともに、ふるさと大使の山崎一様からお祝いのビデオメッセージを頂戴し、花を添えていただきました。

次に、1月14日から2月12日にかけて開催しました第6回「寄ロウバイまつり」は、開催中の好天にも恵まれ、また各報道機関にもロウバイまつりが大きく取り上げられたこともあり開催以来初めて2万人を超える20,718人もの方に楽しんでいただきました。実行委員をはじめ関係者の方におかれましては、寄地区の賑わいはもちろんのこと、松田町のPRを担っていただいたことに感謝申し上げます。

1月29日に開催されました第71回足柄上地区一周駅伝競走大会では、中高生、社会人と男女混合で駅伝が開催され、足柄上合同庁舎をスタートし上地区

の市町をめぐるコースで行われ、オープンチームを含め13チームが出場し、松田町Aチームが5位、Bチームが10位という結果でございました。応援まことにありがとうございました。

1月31日にはふるさと大使である、前横浜高校野球部監督の渡辺元智さんから甲子園での優勝メダルや選手のサイン入りウィニングボールなど、数々の偉業を語る貴重な記念品が多数町へ貸与していただきました。町民文化センター1階に展示しております。貴重な品々ですので、ぜひご覧ください。

続きまして、2月1日に静岡県河津町に表敬訪問し、相馬町長に河津桜つながりのある町との連携強化のお話しを行って参りました。当町の桜まつりも来年で20回目を迎えることから、河津桜サミットを共同開催しようと考えております。お互いの連携により地域経済の活性化が進むよう取り組んでまいります。

次に、2月11日から始まった恒例のまつだ桜まつりです。スタート当初の暖かさのため例年より3週間ほど早く開花が始まり、まつりが始まるころには見ごろを迎えてしまうなど、急きよ早めの準備を余儀なくされたところですが、2月末までに約14万人が訪れ、一足早い桜を満喫していただきました。非常に残念ではありますが、桜が散り、来場客に対して失礼になることから、様々なチャンネルを使い告知をしているところです。

2月12日に開催されました第71回かながわ駅伝競走大会では県内30チームが参加し、松田町は町村の部、6位入賞、上郡トップという成績で昨年より記録も上回る好成績で終えることができました。松田町を背負ってくれた選手、また関係者の皆様には感謝と敬意を送ります。

地方創生事業の一つであるブランディング連携事業です、地方創生加速化交付金を利用して1市5町で進めております、あしがらローカルブランディング推進協議会では、「あしがらエリア」のブランドイメージが見える化にしました「プロモーション動画」「ポスター」「観光情報誌」を製作しましたので、2月23日に共同で記者発表を行いました。「プロモーション動画」につきましては、小田急線車両のモニターで3月12日まで放映されます。この協議会では今後、小田急線の駅前PRイベントやモデルツアーを行い、この「あしがら」を広く知っていただき、地域経済を観光事業を中心に回していくための活動を展開して参ります。

また関連事業としまして、2月14日から17日まで市町村振興協会の助成金を活用し、5町の広域行政連携事業としてASEAN経済の中心地であるシンガポールへ日本食材に対するニーズや品ぞろえ、価格、売れ行き等を視察、また足柄上地区5町の特産品の輸出と観光客の誘客の可能性を探るため、JETRO、日本貿易振興機構・JNTO、日本政府観光局、また旅行会社のJTB、HISのシンガポール事務所などを訪問してまいりました。直接現地を見たことで、日本から

見た一方的な事業にならないよう、また5年、10年先の近未来のあしがら地域の経済発展につながる事業として、今後も推進してまいりたいと考えています。

2月25日26日に松田氏の子孫を講師として招き、松田氏の始まりから今に続く歴史を探る「全国松田サミット in 松田町」が町内外の約350人の方々にご参加いただき開催されました。遠くは北海道、岡山、香川など全国の松田姓を名乗る20名の方にご参加いただきました。今後は、ネット上の情報ですが、全国には約29万人の松田氏がおられますので、準町民として登録していただけるような呼びかけ、町内のサービスを受けたりできるよう整備し、また、全国の方が松田町にふるさと納税を行っていただけるなど、次につながる展開を図ってまいります。ちなみに単純な計算ですが、10万人の方がひとり1万円の寄附で10億となりますので、そんな夢を持って取り組みたいと考えております。

今週末の3月5日に行われます、「ふくしあったかフェスタ 2017」におきまして、昨年12月に包括協定を締結しました株式会社DHC様より健康サプリメント400人分を無料提供いただくことになりました。当日「スタンプラリー」に参加された方々に配布を予定してございます。今後も町民の方々の健康寿命の延伸につながる事業を含め様々な連携事業を展開して参ります。

最後に松田ライオンズクラブは、度が合わず不要となった、使用可能な中古眼鏡を収集して、ライオンズ眼鏡リサイクル・プログラムを支援されています。松田町においても、福祉課カウンターにポスターを掲示し、収集の支援を行っています。最近、少しずつですが、箱に中古眼鏡を入れていただけるようになりました。議員の皆様におかれましても、どうかご協力をお願いいたします。

それでは、議会に先立ち、貴重なお時間を拝借いたしまして、29年度予算(案)をご審議いただくにあたり、所信の一端を述べさせていただくところですが、その前に、この定例会に提案をさせていただいております条例案と補正予算案の概要についてご説明申し上げます。

初めに、提案しております議案ですが、専決処分の報告、条例の一部を改正する条例5件、町道認定、萱沼地域集会施設の指定管理者の選定の議案を提出させていただきました。

先ず、承認第1号 専決処分の承認を求めることについては、ふるさと納税が増えたことにより返礼品等の支出が不足となることから2月7日に専決処分をさせていただいた報告です。

続いて条例の改正でございますが、

議案第1号 松田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び松田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例。

議案第2号 松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。

議案第3号 松田町寄ふれあい農林体験施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例。

議案第4号松田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例。

議案第5号松田町児童館等の設置及び管理に関する条例及び松田町地域集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例。

議案第6号 松田町町道路線の認定。

議案第7号 松田町萱沼地域集会施設の指定管理者の指定についてであります。

続きまして議案第8号平成28年度松田町一般会計補正予算第9号についてでございます

国庫支出金、地方創生拠点整備交付金6,000万円とそれに伴います複合拠点整備事業債4,800万円を歳入に文化センターをリノベーションしスポーツ環境整備を行います複合拠点整備事業に1億2千万円、また、地域の低炭素化を実現しつつ、災害発生後の停電時に対応できる施設整備として二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助2,257万円を受けまして、町内の地域集会施設や幼稚園、分団詰所11か所に太陽光発電を整備する防災拠点・避難所太陽光発電設備整備工事等3,174万円を今回の補正で対応させていただくものでございます。なお、今年度も残すところあと1か月を切っておりますので、事業の執行に当たりましては、繰越明許費とさせていただき平成29年度執行となりますことをご了承ください。また、この補正第9号は、年度内のほぼ最後の補正予算でございますので、事業費が確定し、不用となった予算額などを整理させていただいたものもあり、歳入歳出それぞれ1億4,512万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を45億7,344万6千円とするものでございます。

次に特別会計の補正予算については、議案第9号国民健康保険事業特別会計補正予算第3号と議案第10号介護保険事業特別会計補正予算第5号でございます。

以上が提出議案と28年度補正予算の概要でございます。

続きまして、議案と共にお届けしました「平成29年第1回定例議会所信表明」を基に、29年度当初予算案の概要をご説明申し上げますと共に、当面の町政に対する取り組みなどについて、所信の一端を申し述べさせていただく訳ですが、新規事業と重要事項の概要のみとさせていただくことをご了承願いたいと存じます。

「平成29年度当初予算(案)」を提案するにあたり、その概要をご説明申し上げますとともに、当面の町政に対する取り組みなどについて、所信の一端を申し述べたいと思います。

平成29年度における町の予算規模は、一般会計では45億6,000万円、前年度比3億7,000万円の増、率にして8.8%の大幅な増となっております。過去、庁舎建設事業を行った平成17年度の48億6千万円に次ぐ過去2番目に大きな予算規模となっております。

増額の主な要因としましては、町営住宅建設事業1億7,460万円、事業が分かれておりますが地方創生推進事業としまして7,564万円、小田原市斎場

事務負担金約3,000万円、保育所整備支援事業5,000万円、扶助費として障害福祉サービス等給付事業3,000万円の増などとなっております。

また、国民健康保険事業などの7特別会計の総額は32億4,912万円で1億57万円の増、率で3.2%の増、企業会計の上水道事業会計は2億3,905万円で3,735万円の減、率にして13.5%の減となりました。主な減額の要因としましては、2年継続で行っている中河原水源電気設備改修工事が2年目となり工事内容による2,190万円の減をはじめ、宮下水源送水用電動弁更新工事、宮下水源受水槽水位計更新工事、河南沢配水池漏水補修工事などが完成したことによる資本的収支の減額によるものです。

これら9会計の29年度予算総額は80億4,817万円で、前年度比4億3,321万円の増、率にして5.7%の増となっております。

次に「予算編成の基本的な考え方」でございますが、当町を取り巻く社会・経済環境は、国内では緩やかな景気回復基調が続いているものの、今後はグローバル化の波と、それに逆行する形での保護主義が複雑に絡み合う世界経済の不安定な影響を受け、大変厳しいものになることが予想されています。

このような困難な状況乗り越えていくための鍵となるのが「地方創生」です。町民の力、地域の力を紡ぎ、協働と創意工夫により行財政運営の質を高め、明確な将来ビジョンを示し、実行していくことが問われ、松田に住まう全ての人々と危機意識を共有し「オール松田」となって取り組むことができるか、今まさに地域一丸となつての“突破力”が試されています。

新年度予算編成にあたり、自主財源の根幹である町税の増額は見込めず、併せて地方譲与税をはじめとする各種交付金も減額が予想され、歳出においても、少子・超高齢社会へと変貌を遂げる中で、扶助費を中心とする社会保障関連経費が更に増加傾向にあります。また、すでに更新時期を迎えている施設の改修・維持管理経費の増大などの財政需要が見込まれています。

そのような状況にあっても、重点課題である地方創生のための各事業を始めとし、木の学校づくりを念頭にした教育施設の整備充実、女性が輝き活躍し、子育て世代が安心して子供を育てられる地域づくり、寄ふれあいドッグランや寄ロウバイ園を中心とした寄地域の振興、PFI手法を採り入れた町営住宅建設による良好な住環境の提供など、未来へ”ツナグ”をキーワードに、魅力あるまちづくりのために必要な予算を確保・配分した結果、平成17年度以来12年ぶり、過去2番目となる総額80億を超える予算規模となっており、地方創生に求められている自立・自走のための活力を創出し、課題解決のため「オール松田」で一丸となつて取り組み、突破力を生み出す原動力となる予算としています。

一般会計における、歳入、歳出について特色のあるものを中心に、逐次ご説明申し上げます。

先ず、歳入のうち町税は15億3,401万円、前年度比1,958万円の減、

率にして1.3%の減となりました。家屋の新築による固定資産税及び法人町民税法人税割の増収を見込めるものの、所得の減少による個人町民税所得割、土地の下落修正による固定資産税及び税の特例が受けられる環境負荷の小さい軽自動車への買い替えによる軽自動車税の減収を見込み全体としては減となっております。

続いて地方交付税ですが、8億6,000万円で4,000万円の増になります。

臨時財政対策債の償還費用の需要額算入が3,600万円、歳出で説明いたします、統合に伴います寄中学校生徒への通学定期補助の需要額算入500万円、また、地方創生推進交付金の地方負担分への特別交付税の増1,000万円を見込んでおります。

国庫支出金は4億7,524万円で、前年度比1億2,011万円、33.8%の増となっています。地方創生推進交付金2,800万円、社会資本整備総合交付金3,600万円、臨時福祉給付金事業費3,000万円、障害者自立支援給付費等負担金1,600万円などが主な増額要因で、そのほかに子どものための教育・保育給付費国庫負担金、児童手当国庫負担金、などが計上されています。

続いて県支出金ですが、3億6,217万円で6,339万円の増、率では21.2%の増となっています。これは、市町村自治基盤強化総合補助金2,000万円、安心こども交付金事業費補助金3,500万円が主な増額要因でこのほか水源環境保全・再生施策市町村交付金、地籍調査費補助金などを計上しています。

続きまして寄附金1億円、前年度より4,950万円の増であります。ふるさと納税につきまして、従来の受付方法に加え、新たなサイトを開設し、寄附額の積極的な受け入れを図ります。

次に繰入金ですが、4,120万円で前年度比2,000万円の増となっております。財源需要に要するために財政調整基金より3,000万円、木の学校づくり関連経費として、耐力度調査のために教育施設整備基金から1,000万円の繰入れを予定しております。また、120万円につきましては、福田奨学基金からの繰り入れでございます。なお、財政調整基金の残高でございますが、29年度末残高は2億3,450万円となる見込みでございます。

最後に町債ですが、5億300万円で1億7,800万円の増、率にして54.8%の増となっています。予定している起債につきましては、町営住宅建設事業1億7,450万円をはじめ橋梁長寿命化事業・道路新設改良整備事業・新松田駅南口駅前広場整備事業・保育所整備支援事業・小田原市斎場整備事業並びに臨時財政対策債の発行を予定しているところでございます。なお、臨時財政対策債については、1億9,500万円で2,000万円の減となり、昨年引き続き減少しております。

起債につきましては、国庫補助対象事業を中心に起こすもので後年、償還金に関しましては交付税算入されることとなります。

次に歳出につきまして、主な施策について予算科目順にご説明申し上げます。

議会費は予算額が8,745万円で、前年度比47万円の増となっており、0.5%の増となっております。

続いて総務費ですが、7億7,484万円で、28年度に比べ2,520万円の増、3.4%の増となっています。

まずは、地方創生推進事業としまして2事業を計上してございます。

女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業として2,600万円、女性活躍に向けたまちづくりに関する総合的な戦略と駅周辺地域の公共施設等の有効活用を検討する計画を策定し、町内をはじめ女性の起業化を推進するための人材育成や組織形成を実施するものです。

県西地域活性化プロジェクト推進事業3,138万円、松田町を含む県西地域2市8町と神奈川県で連携して、未病改善をキーワードに地域活性化を推進する事業。本町では、交通の要衝である駅周辺地域の広域的な将来構想及び拠点整備に係る計画を策定し、東京オリンピック2020を見据えたインバウンド対策として国際交流拠点構築に係る環境づくりに取り組むものです。

続きまして、重点課題であります定住化促進事業に引続き取り組みます。定住少子化対策支援事業1,028万円の中に含まれますが、空き家の有効活用と民間賃貸住宅などの空き室率の解消への子育て世代等の支援としまして民間賃貸住宅家賃補助に96万円、定住希望者への積極的な情報提供、若者の出会いの機会づくり、実際に町に住まいを定めた方や雇用を創出した企業に対する補助、町の魅力の再発見を促す同窓会開催への支援、民間賃貸住宅などの空き室問題への対応は引き続き取り組むものとし、また、公共交通の補完を目的に、路線バスの維持確保を合わせた地域公共交通対策としまして乗合バス運行補助事業、通学定期券助成事業、高齢者バス定期券助成事業についても、継続して行うものとし814万円を計上しております。

そのほか新規事業としまして、地域の課題解決に向け活動をしている団体に対し、事業費の一部を助成する地域力向上事業助成金50万円、現在策定中であり、自治基本条例策定事業に204万円、ふるさと納税に係る経費としまして5,000万円、システム利用及び返礼品の発送に関する経費を計上してありますが、従来の受付方法に加え、新たなサイトを開設し、寄附額の増額を目指すものです。

民生費でございますが、予算額13億443万円、前年度対比1億3,604万円の増、率にして11.6%の増となっています。増額の要因としましては、保育所整備支援事業5,000万円、扶助費としまして障害福祉サービス等給付事業3,000万円の増などが主なものです。

高齢者や障害者のための基本的な施策は継続するほか、中学校修了まで無料化をしている小児医療費助成についても29年度は3,938万円の予算を計上し、事業を継続してまいります。

これも定住化対策の一環として、ひとり親家庭等医療費助成事業に815万円、子育て支援センター・ファミリーサポート事業には1,350万円、学童保育運営事業につきましては、受入れ児童の増加に伴い学童保育運営事業には1,623万円を計上するなどして事業実施をしてまいります。

なお、児童手当事業には1億3,551万円、国民健康保険事業特別会計に対しては、法定外の「その他繰出金2,000万円」を含めた繰出金として1億960万円を、介護保険事業特別会計には繰出金1億7,076万円、さらに後期高齢者医療制度経費1億4,462万円と、各特別会計への繰出金などを予算計上したところでございます。

続いて衛生費です。予算額は3億1,606万円で、前年度比4,188万円の増、率にして15.3%の増となっています。

増額の主な要因としましては、31年度供用開始を予定しております小田原市斎場の整備費負担金の3,000万円増となっております。

新規事業としまして、鳥獣被害対策の担い手となる人材が高齢化などにより不足している現状を解決するため、捕獲講習会やイベントを開催し、若手や女性などハンターを目指す新たな層の掘り起こしと人材育成など地方創生推進事業でありますハンター育成事業300万円が計上されています。

この衛生費でも、定住化促進事業として健康診査や健康づくり事業などに引き続き取り組んでまいります。

続いて農林水産業費です、予算額は1億1,010万円で、前年度比767万円、7.5%の増となりました。

28年度に引き続き地方創生推進事業、Yadoriki Healing Village 運営事業 に1,526万円、寄ふれあいドッグランを中心とした地方創生事業「Yadoriki Healing Village 愛犬との共生が癒しと賑わいを創出する里づくりプロジェクト」をより軌道にのせ、経済のエンジンを回していくための組織運営や人材育成などに係る経費を計上しております。

また、新規事業としましては豊かな環境、生態系を保全し動植物のいのちを守り、未病の改善などにより人のいのちも守る「里地里山」の活動について、里地里山活動協定地の対象団体に対する支援として、里地里山保全・再生事業 69万円を計上しました。その他には、かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画に基づき、地域水源林として位置づけた区域の私有林整備事業として533万円を計上させていただきました。

次に商工費ですが、予算額が1億2,062万円で、前年度比36万円の減、0.3%の減となっています。今年度も町内の商工業の発展を目的とし、松田ち

よい呑みフェスティバルや空き店舗対策、プレミアム商品券発行に要する補助経費としまして、商工振興対策事業1, 198万円を計上、また、引き続き松田ブランド事業として103万円を計上しております、特産品開発事業40万円と合わせまして、松田町特産品の中から松田ブランドを選定し広くPRをして、ふるさと納税などにも効果につながるようにするものです。

また、平成29年度もまつだ桜まつり、キラキラフェスタ事業などフェスティバル事業に840万円や観光宣伝事業に1,507万円と継続実施するものとし、空き店舗対策事業としまして、商店街の空き店舗の解消を図り、商店街の活性化と暮らしやすさの向上を目的に、空き店舗を活用して事業を始めようとする方を対象として、店舗賃借料の一部を補助するなどの予算60万円を計上しております。

続いて土木費です、予算額は7億8,522万円で、前年度比1億9,069万円の増、率では32.1%の大幅な増となっています。

定住化促進のために、住環境などの基盤整備は不可欠なものであります。冒頭でもご説明しましたが、籠場町有地へのPFI手法を取り入れた町営住宅を建設するための町営住宅建設事業に1億7,460万円、新松田駅南口駅前広場整備事業には用地買収等の費用1億4,158万円や、新松田駅周辺整備を町の核となる事業として位置づけ、関係者との協議、検討を一步進めるために、まちづくり構想推進事業として904万円の予算を計上しました。平成27年度におきまして地権者や公共交通事業者など関係機関との協議会を発足し、28年度から3年間で基本方針・基本構想を検討しているところです。

また、道路補修事業費として、町屋地区の町道17号線や寄虫沢地区の町道寄11号線舗装工事などに3,440万円を予算計上しました。また、道路新設改良整備事業として今年度から実施しております町道寄15号線や町道1-9号線の改良工事など6,395万円を計上し整備などを推進してまいります。

また、国土調査法に基づく土地の調査（地籍調査）を沢尻・仲町屋地区を対象に地籍調査費用として1,324万円、田代橋、大寺橋の耐震補強を含めた橋梁長寿命化補修事業として6,520万円を計上しております。

次に消防費です、予算額は2億1,739万円で前年度比905万円の増、率にして4.3%の増となっております。主な増額要因といたしまして、土砂災害ハザードマップ作成委託料640万円が主なものです。また、防災資機材等整備事業として防災倉庫備蓄品、災害時非常食購入費など426万円、そのほか消防団運営経費や広域消防の負担金を計上しております。

続いて教育費ですが、4億6,886万円で前年度比4,543万円の減、8.8%の減です。

減額につきましては、萱沼地域集会施設建設が終了したこと、また、今後松田小学校をはじめとする老朽化した教育施設の整備に対応するための教育施設整備

基金への積立を、前年度の5千万から3千万円としたことが主なものでございます。教育施設整備基金つきまして、29年度末の見込みは2億7,000万円となります。

新規事業としまして、「松田町立学校校舎建設基本計画」により建て替えを予定している松田小学校の建設手法等を検討また、国庫補助金申請のための校舎の耐力度診断するための経費としまして「木の学校づくりに関する経費」890万円。

拡充事業としまして、外国人英語指導助手（ALT）による発達段階に応じた英語指導を行い、児童・生徒の英語教育の充実評価を図ります。新年度は指導員を増員し、事業を強化するもので英語教育推進事業に805万円を「松田中学校、寄中学校統合に関わる経費」304万円につきましては、統合準備委員会にかかる経費及び寄から松田中学校へ通う生徒、及び部活動に通う生徒とその引率者のバス通学補助金が主なものでございます。

また、小中学校が土曜日等の休日に関わらず地域の協力をより様々なプログラムを実施するための経費「土曜日の教育活動支援事業費」196万円を計上しました。

また、道徳教育推進事業に50万円、これは学習指導要領の一部改正を受けて、平成30年度小学校、平成31年度中学校で教科化される道徳について、道徳教育の質の向上、指導内容・方法等の工夫・改善を図るため、県教育委員会の研究指定を受け、松田小学校及び松田中学校で実施するものでございます。

継続事業ではありますが、学校ICT推進事業費として3,609万円を計上してございます、小学5年生から中学3年生までのすべての児童生徒にタブレットが行き渡ることになりますので、今後も事業を効果的にサポートするための支援員の派遣にかかる費用などがあります。

そして、この教育費にもいくつかの定住化促進事業があり、給食費保護者負担軽減措置事業として737万円、学校警備員配置事業736万円のほか、小中学校における障害のある児童生徒のための介助員や、普通教室でも学習支援を必要とする児童生徒に対応する学習支援員を配置する事業を継続するとともに、幼稚園2園ともに3年保育を実施し、無料送迎バスの運行を継続してまいります。

公債費ですが、3億5,005万円と前年度比379万円、率にして1.1%の増となりました。

最後に予備費として2,500万円を計上してございます。

以上が一般会計における平成29年度当初予算（案）のあらましとなります。

続きまして、特別会計、企業会計についてご説明申し上げます。

まず、国民健康保険事業特別会計についてでございます。

予算額は、15億6,564万円で、前年度比較2.2%の増となっております。これは、保険給付費の伸びによる増額によるものです。

国民健康保険は、平成24年度に税率改定を行ったところですが、被保険者の減少や景気の低迷による所得の減少、さらに軽減税率の拡充など、保険税収入が

伸びない状況に対して、27年度後半から医療費が伸び続けているため、28年度は県の貸付金を受けなければ運営が成り立たないことから、今後の国保財政の健全な運営のため、保険税率の改定をせざるを得ない状況になっています。さらには30年度の県への移管を見据えた運営を行う必要があります。また、国や県の財政的な支援の拡充はあるものの、一般会計（その他繰出金）に頼らざるを得ない状況は変わらなく、その財政運営は厳しい状況にあります。

次に、国民健康保険診療所事業特別会計でございますが、予算額は7,332万円となり、前年度比較2.1%の増となっております。

国民健康保険診療所は、地域の皆様から信頼、安心されて診療が受けられる医療機関として重要な役割を担っています。現在は、嘱託の医師と県立足柄上病院の医師と連携し、町民の皆様の健康と地域医療の向上に努めていきたいと考えております。

次に、上水道事業会計についてでございます。

予算額は、2億3,905万円で、前年度比較13.5%の減額となっております。

水道使用料につきましては、給水人口の減少や節水志向による使用水量の減少により、1.8%の減となっております。収益的収入の76%を占める水道使用料の減少は、健全な経営に影響を及ぼすことから、新たに水道事業運営協議会を立ち上げ、検討に入ります。そのための報酬等を計上しております。

資本的支出につきましては、昭和58年設置の中河原水源電気設備改修工事を昨年度から2か年で実施しており、今年度は設備を本設置し、運転を切り替えます。そのほか県道711号線及び県道72号線の改良に併せた配水管の布設替工事などを予定しており、前年度比で26.6%減の9,845万円となっております。引き続き安全でおいしい水の供給と非常時に対応できるよう取り組んでまいります。

次に、寄簡易水道事業特別会計についてでございます。

予算額は、4,167万円で、前年度比較8.7%の減となっております。

歳入につきましては、水道使用料が伸び悩み、前年度比較7.7%の減となりますが、歳出につきましては、安全でおいしい水を安定して供給するため、計画的な施設の更新を行ってまいります。老朽管の布設替えとして弥勒寺地区の配水管布設替工事、弥勒寺配水池非常用通報装置、宇津茂配水池No.2送水ポンプ更新工事、大寺送水ポンプ場No.1送水ポンプ更新工事、同非常用通報装置取替工事を計上しております。

次は、下水道事業特別会計についてでございます。

予算額は、3億4,441万円となり、前年度比較0.5%の増となっております。

快適な暮らしを営むための生活環境の向上と河川環境の保全に向けて計画的に

下水道の整備及び維持管理に取り組んでおります。

歳入のうち、下水道使用料は、昨年12月の議会定例会で下水道使用料の改定をお認め頂いたため、前年度比較15.7%増の1億2,000万円となっています。また、一般会計からの繰入金1億5,380万円は町債の償還に充てております。

歳出につきましては、国庫補助事業を活用し、下水道管の老朽化対策のための調査費、公共下水道管渠布設工事などを計上しました。今後も収支バランスを勘案し、健全な運営に向けて、議員の皆様のご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。

続いて、介護保険事業特別会計についてでございます。

予算額は、10億4,538万円となり、前年度比較6.3%の増、主に保険給付費の伸びに伴う予算の増加となっております。

介護保険事業につきましては、平成27年度から平成29年度を計画期間とする「第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の3年目に当たり、高齢者を主体として、住み慣れた地域で生活を支える地域包括ケアシステムの構築を進め、生活支援体制整備も併せて推進していきます。

平成27年度からスタートした介護予防・日常生活支援総合事業も軌道に乗り、課題となる在宅医療・介護連携推進事業についても、1市5町が連携の上、足柄上医師会に委託して、足柄上地区在宅医療介護連携支援センターが足柄上病院に4月から開設されます。引き続き地域包括支援センターの機能強化を図るとともに、「生活支援サポーター」の養成のほか、社会福祉協議会とも連携して、生活支援体制整備に取り組んで参ります。

また、平成29年度には、中長期的な視点に立ち、平成30年度からの「第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の計画策定を行います。

次に、用地取得特別会計についてでございます。

予算額は、670万円となり、平成23年度に取得した籠場町有地の起債に対する元利償還金652万円と平成27年度に取得した町屋町有地の償還金利子12万円を計上しております。

最後に、後期高齢者医療特別会計でございます。

予算額は、1億7,200万円で、前年度比較4.3%の増となっております。

後期高齢者医療関係では、この特別会計のほかに、一般会計から後期高齢者医療広域連合へ直接支出をする広域連合事務費負担金として743万円と法定の市町村定率負担金1億1,026万円を計上しております。

以上が平成29年度当初予算(案)と当面の町政運営についての私の所信の一端でございます。

提案いたしました案件につきましては議事の進行に伴い、私をはじめ副町長、教育長、課長等よりご説明を申し上げますので、よろしくご審議のうえご議決、

ご認定賜りますよう、お願い申し上げます。

以上でございます。ありがとうございました。